

---

日本語版 ExtraView リリース・ノート  
バージョン 5.2.2

2008 年 3 月



## 改定履歴

Rev.	Date	Modification
[N]	2008-2-12	新規作成
[1]	2008-3-12	<ul style="list-style-type: none"><li>- 「追加画面/編集画面で親値を選択したときに、JavaScript を使用して子値を絞り込めるようにした」という機能は、5.0.2.4 から既実装されていたため、本文書から削除した。</li><li>- 添付ファイルをファイルシステムに格納した場合、添付ファイル内の文字列検索ができないことを、制限事項に追記した。</li><li>- issue の更新を基準として自動設定される数値フィールドをクエリ・フィルタに設定する際に、6 種類のオペレータが選択可能となったことを新機能として追記した。</li><li>- 上記[3]の機能について、“と等しい”、“と等しくない”、“以上”という条件を設定した場合に正しく検索されないことを既知の不具合として追記した。</li></ul>



## 目次

---

1. バージョン 5.2.2 の新機能 .....	1
一般的な機能 .....	1
レポート機能 .....	1
新しい管理機能 .....	2
issue の追加 / 編集の改善 .....	4
2. 日本語版 ExtraView に関する注意事項 .....	5
3. 日本語版 ExtraView に関する制限事項 .....	6
環境に関する制限事項 .....	6
動作に関する制限事項 .....	6
4. 日本語版 ExtraView の既知の不具合 .....	10

# 1. バージョン 5.2.2 の新機能

---

## 一般的な機能

- ・ユーザ・インタフェースを改善しました。
  - 新しいカレンダー・コンポーネントを採用しました。
  - 新しい色選択コンポーネントを採用しました。

## レポート機能

- ・カラム・レポートとサマリ・レポートでフィールドをより簡便に選択・順序変更・削除できるようにしました。
- ・カラム・レポートで issue をグループ化して表示できるようにしました。グループごとに見出しとグループに属する issue の小計が表示されるようになります。
- ・カラム・レポートで計算式を使用できるようにしました。計算式の中では既存のフィールドの値を使用することができます。
- ・新しいレポート“マトリクス・レポート”を追加しました。任意の 2 つのフィールドの要素を横軸と縦軸に配置したレポートで、要素の組み合わせに対応する issue の数が集計されて格子状に表示されます。
- ・作成済みレポートの実行時に絞込条件を最終決定できるようにしました。「\* 実行時に問い合わせる \*」または \$\$RUNTIME\$\$ をフィールドの絞込条件に設定したレポートを実行すると、絞込条件を最終決定するための画面が表示されます。
- ・カラム・レポートの検索結果に表示される issue ID に issue の詳細レポートまたは編集画面に遷移するためのハイパーリンクを設定できるようにしました。
- ・issue の関連性を利用した階層化レポートを作成できるようにしました。
- ・クイックリスト・レポートの結果画面から詳細レポートに遷移できるようにしました。
- ・検索結果の中から一部の issue を選択できるようにするための機能（レコード・セレクト）を追加しました。
- ・Excel への出力形式として整形形式を選択できるようにしました。
- ・累積グラフを作成できるようにしました。
- ・領域図を作成できるようにしました。

- ・線グラフで X 軸に表示するラベルを一定間隔で省略できるようにしました。
- ・エージング・レポートに合計の行を表示するようにしました。
- ・issue の更新を基準として自動設定される数値フィールドを、詳細クエリ画面のクエリ・フィルタに設定する際、“と等しい”の他、“より大きい”、“より小さい”、“と等しくない”、“以上”、“以下”という条件を設定できるようにしました。対象フィールドは、DATE\_CLOSED\_SINCE、DATE\_CREATED\_SINCE、DATE\_LAST\_STATUS\_CHANGE\_SINCE、TIMESTAMP\_SINCE です。

## 新しい管理機能

- ・各ユーザが2つの電子メールアドレスを持てるようにしました。ユーザは主電子メールアドレスと代替メールアドレスを切り替えて使用することができます。
- ・新しいレイアウト・セル属性“NOT REQUIRED IF”を用いて、フィールドの状態を必須から非必須に変更できるようにしました。
- ・新しいレイアウト・セル属性“HEIGHT”を用いて、テキスト・エリア、ログ・エリア、出力テキスト・エリアの初期行数を設定できるようにしました。
- ・レイアウト・セル属性“HTML MODIFIER”を用いて、テキスト・エリア、ログ・エリア、出力テキスト・エリアの入力欄を自動拡張できるようにしました。自動拡張する場合は、“HTML MODIFIER”に“onkeyup=autoSize(this);”を設定してください。
- ・レイアウト・セル属性“VALIDATE HIDDEN”、“VISIBLE IF”、または“READONLY IF”を埋め込みレイアウトに設定した場合、その設定を埋め込みレイアウトに配置されているすべてのフィールドに適用するようにしました。
- ・複数の埋め込みレイアウトにそれぞれ一つずつ関係 issue レイアウト(RELATED\_ISSUE\_DISPLAY)を配置し、それらの埋め込みレイアウトを一つのレイアウトに配置することで、複数の関係 issue を一つの画面内で表示できるようにしました。
- ・レイアウトに配置するフィールドの選択リスト内の項目順序を“固定データベース名(表示タイトル)”から“表示タイトル(固定データベース名)”に変更できるようにしました。変更する場合は、「\* リスト内のすべてのフィールドの名前とタイトルのソート順を逆にする \*」を選択します。
- ・ビジネス・ルールで数値や日付を比較できるようにしました。比較演算子として、「<」、「>」、「<=」および「>=」が使用できます。
- ・ビジネス・ルールで issue の新規追加や issue に関連付けられた issue の更新ができるようにしました。
- ・新しい動作設定“REPORT\_DTL\_ITEM\_DATA\_LAYOUT”を用いて、詳細レポートのレイアウトを各 issue が属するビジネスエリアとプロジェクトに対応させられるようにしました。今までの ExtraView ではすべての issue がカレントビジネスエリアとカレントプロジェクトに対応するレイアウトで表示されていました。

- ・ 新しい動作設定 “ SORT\_SELECTED\_VALUES ” を用いて、複数値選択リストの要素のうち、選択された要素をリストの先頭部に表示できるようにしました。選択された要素は各要素のソート順に並べられます。
- ・ 新しい動作設定 “ AUTO\_SCROLL\_TO\_CLICKED\_LAYOUT ” を用いて、リフレッシュ後の画面の初期位置を埋め込みレイアウトに合わせられるようにしました。埋め込みレイアウトに配置されたフィールドがトリガになって画面がリフレッシュした場合、リフレッシュ後の画面の初期位置はそのフィールドが属する埋め込みレイアウトの最上部になります。
- ・ 新しい動作設定 “ EDITOR\_STYLE ” を用いて、アドホック電子メール用エディタまたはサインオン・メッセージ用エディタの HTML エリア・フィールドで使用する HTML エディタのボタン・バーの形式を変更できるようにしました。
- ・ 新しい動作設定 “ NAV\_BAR\_STYLE ” を用いて、ナビゲーション・バーに配置されているナビゲーション・ボタンの位置を調整できるようにしました。
- ・ 新しい動作設定 “ NAV\_BAR\_DRILLDOWN\_BOX\_STYLE ” を用いて、ナビゲーション・バーに配置されている issue 検索用フィールドの位置を調整できるようにしました。
- ・ 新しい動作設定 “ USER\_POPUP\_COLUMNS ” を用いて、ユーザ選択ポップアップに表示する要素を変更できるようにしました。
- ・ 新しい動作設定 “ PASSWORD\_RULES ” を用いて、ユーザのパスワードの構成要素を制限できるようにしました。
- ・ エスカレーション・ルールの管理画面構成を関係者リストの管理画面構成に合わせました。
- ・ 日付をキーにしたエスカレーション・ルールを作成できるようにしました。
- ・ データ辞書画面で Inbuilt フィールドと UDF フィールドを同じタブ内で管理するようにしました。
- ・ 添付ファイルをデータベースに格納する代わりにファイルシステムに格納できるようにしました。
- ・ 複数選択可能なポップアップ・フィールドを作成できるようにしました。
- ・ アプリケーション・サーバ・ログ (EVJ.log) の内容をシステム・ログ画面から参照できるようにしました。
- ・ 新しいエントリ `.layoutButton` を用いて、メニューバー上のボタンのスタイルとレイアウト内のボタンのスタイルを区別できるようにしました。
- ・ フローティング・ライセンスの獲得と解放のタイミングを変更できるようにしました。
- ・ 新しいビジネス・エリアを作成すると、デフォルト・プロジェクト (セキュリティ等の継承用) とデータ格納用プロジェクトが一度に作成されるようになりました。
- ・ ユーザが追加画面の [確定] または編集画面の [更新] ボタンを押したときに、ユーザ・カスタム JavaScript 関数 (`userJavaScriptAddBtn` または `userJavaScriptEditBtn`) が呼び出されるようにしました。

## issue の追加 / 編集の改善

- issue 同士の関連を簡便な方法で削除できるようにしました。
- issue の一括更新をバックグラウンドで動作させるようにしました。
- issue を一括で複製できるようにしました。

## 2. 日本語版 ExtraView に関する注意事項

---

- 日本における ExtraView のサポートは、東陽テクニカが行います。各マニュアルの中で「ExtraView 社へお問い合わせください」と記載されている箇所は、「東陽テクニカへお問い合わせください」と読み替えてください。同様に、URL の <http://www.extraview.com/> は <http://www.toyo.co.jp/>、メールアドレスの [supoprt@extraview.com](mailto:supoprt@extraview.com) は [ss\\_support@toyo.co.jp](mailto:ss_support@toyo.co.jp) に読み替えてください。
- 日本語版 ExtraView 5.2.2 を Windows 上にセットアップする際は、「ExtraView インストール/構成ガイド」と一緒に、必ず「ExtraView セットアップ・ガイド (Windows 用)」もご参照ください。「ExtraView セットアップ・ガイド (Windows 用)」には、パラメータの変更や日本語版独自の情報が記載されています。
- Apache Web サーバ、Apache Tomcat アプリケーション・サーバ、Java SDK、Perl などをインストールする際、「ExtraView インストール/構成ガイド」に記載されているバージョンと、お客様が実際にインストールするバージョンとが異なる場合があるかもしれません。これら関連ソフトウェアのバージョンに関して、そのバージョンを ExtraView がサポートするかどうかについては、東陽テクニカのテクニカル・サポートにお問い合わせください。
- 「ExtraView インストール/構成ガイド」の中に gcc のインストールに関する記述がありますが、gcc は Solaris または Linux 上で Apache をコンパイルする際に必要となるプログラムです。したがって、Windows 上での日本語版 ExtraView 5.2.2 のセットアップに、gcc は必要ありません。
- 「ExtraView インストール/構成ガイド」の中に Perl のインストールに関する記述がありますが、Perl は CLI および API の動作に必要なプログラムです。したがって、日本語版 ExtraView 5.2.2 のセットアップに、Perl は必要ありません。
- 日本語環境における動作設定のデフォルト値は、`Japanese_Application_defaults.sql` という名前の SQL スクリプトで東陽テクニカから提供されます。詳しくは、「ExtraView セットアップ・ガイド」をご参照ください。

## 3. 日本語版 ExtraView に関する制限事項

---

### 環境に関する制限事項

- 日本語版 ExtraView 5.2.2 がサポートするプラットフォームは、Windows のみです。Solaris、Linux はサポート対象外となります。
- 日本語版 ExtraView 5.2.2 がサポートするデータベースは、Oracle のみです。Microsoft SQL サーバはサポート対象外となります。
- 日本語版 ExtraView 5.2.2 がサポートする Web サーバは、Apache のみです。またサポートするアプリケーション・サーバは、Apache Tomcat のみです。
- 日本語版 ExtraView 5.2.2 では、ExtraView コマンド・ライン・インタフェース (CLI) と ExtraView アプリケーション・プログラム・インタフェース (API) はサポート対象外となります。
- 日本語版 ExtraView 4.3.5.1 のサイトを日本語版 ExtraView 5.2.2 にアップグレードした場合、ビジネスルールはアップグレードされません。ビジネスルールをご使用の場合は、弊社までご連絡ください。別途対応いたします。

### 動作に関する制限事項

- 日本語版では、コンテナ・レポートの機能を使用することができません。これは、コンテナ・レポートを使用した結果生成される PDF で日本語を適切に取り扱えないことがあるためです。
- 回避策：ありません。
- issue に添付したファイルが Microsoft Excel ファイルである場合、添付ファイル内の文字列検索が正しく行えない場合があります。これは、Microsoft Excel が内部的に複数のコードセットを保持していることにより、単一のコードセットによる検索を外部から実行することができないためです。
- 回避策：ありません。
- 表示タイプがリスト、ポップアップ、タブであるフィールドのリスト値に、半角 101 文字以上または全角 34 文字以上の文字が設定されている場合、ファイル・インポート・ユーティリティ

において、このフィールドをインポートしようとする、（インポートファイルにこのリスト値を設定していなくても）[テンプレートの作成 & ファイルのアップロード] ボタン押下時にエラーとなります。

- 回避策：リスト、ポップアップ、タブ・フィールドのリスト値には、半角 100 文字以内、全角 34 文字以内の文字列を指定してください。
- 添付ファイルも含めて検索するクエリにおいて、添付したテキストファイルの中に含まれている全角の特殊記号（注 1）が検索できません。
- 回避策：ありません。
- クエリによるグラフ作成において、ステータスのタイトルが "|"（半角の縦棒）を含んでいると、正しい検索結果が得られません。
- 回避策：タイトルに "|"（半角の縦棒）を含むステータスを作成しないでください。もしくは、ステータスのタイトルに用いる "|" には " | "（全角の縦棒）をお使いください。
- ExtraView が送信する電子メールにおいて、送信者や本文に含まれた全角の特殊文字（注 2）が正しく表示されません。
- 回避策：ありません。
- データ辞書において、予約語（注 3）を使って新規に UDF を作成しようとしたとき、エラーとならずにその UDF が作成されてしまいます。結果的に、issue を追加しようとしたときにエラーが発生します。
- 回避策：予約語を使用する際には、何らかのプレフィクス（例えば、"A01\_" など）を付加してください。
- ユーザ・アカウント・メンテナンスの編集画面で、ヘルプチップよりも、フィールドの方が前面に表示される場合があります。
- 回避策：ありません。
- ツールバーの [ レポート ] メニューから保存されたエージング・レポートを実行すると、表示されたエージング・レポート内の issue 件数が [ エージング・レポート詳細 ] 画面へのリンクになりません。
- 回避策：エージング・レポートをツールバーの [ QUERY ] から実行してください。

- ・ 「ファイルインポート ユーザ情報」で追加したユーザはパスワードが設定されません。そのため、追加したユーザがサインオン画面で「パスワードを変更」を選択した際に、「現在のパスワード」を入力することができず、パスワードを変更できません。
- ・ 回避策：「ファイルインポート ユーザ情報」で追加したユーザのパスワードを変更する場合は、ファイルインポート後に管理者権限のユーザが、「ユーザ・アカウント・メンテナンス」画面にて追加したユーザのパスワードを変更してください。
  
- ・ 添付ファイルをファイルシステムに格納した場合、添付ファイル内の文字列検索ができません。
- ・ 回避策：添付ファイル内の文字列検索を行う場合は、添付ファイルをデータベースに格納するように設定して、ファイルを添付する操作を行ってください。検索時にこの設定を行っても、既にファイルシステムに格納されたファイルは検索されません。



## 4. 日本語版 ExtraView の既知の不具合

---

- ・ クイックリストにおいて、Column Totals の表示位置（縦位置）がずれます。
- ・ 回避策：ありません。
  
- ・ [ ユーザの詳細を変更 ] 画面を開いた後、[ 個人情報 ] 以外のページを開いてから [ ページを印刷 ] をクリックすると、印刷が正しく行われない場合があります。
- ・ 回避策：[ 個人情報 ] ページを開いた直後に印刷してください。他のページも一緒に印刷できます。
  
- ・ ユーザ・ロール、プライバシー・グループ、ステータスのリスト項目を追加する際に、固定データベース名に "."（ドット）が含まれていると、誤ったエラー・メッセージが出力されます。
- ・ 回避策：ありません。
  
- ・ サインオン画面において、"ユーザ ID またはパスワードをお忘れですか?" をクリックしたとき、自動的に電子メールが作成されますが、その件名および本文の日本語が正しく表示されません。
- ・ 回避策：ありません。
  
- ・ 「関連 issue を更新」画面において、[ 1.更新オプション ] で「この項目のみを更新」を選択し、かつ [ 5.通知オプション ] で「すべての関連 issue に関連するユーザに通知」を選択した場合、対象となるユーザに対してメールが送信されません。
- ・ 回避策：この不具合により、実際には変更していない関連 issue に割り当てられているユーザに対して、メールを送信することはできません。これ自体の回避策はありません。変更した issue に割り当てられているユーザだけにメールを送るのであれば、「5.通知オプション」において「関連するすべての issue 上のユーザに通知」を選択してください。
  
- ・ 新しい動作設定"USER\_ADMIN\_DISPLAY\_COLUMNS"を用いて、ユーザ・アカウント・メンテナンス画面に表示するユーザ情報を調整できるようになりましたが、POSTAL\_CODE、LANGUAGE、EMAIL\_FORMAT、RECORDS\_PER\_PAGE を表示することができません。
- ・ 回避策：ありません。
  
- ・ 新たに導入されたマトリクス・レポートで、日付フィールドを複数個「実行時に問い合わせる」に指定しても、一つしか表示されないことがあります。
- ・ 回避策：ありません。

- issue の更新を基準として自動設定される数値フィールドについて、詳細クエリ画面のクエリ・フィルタに “ と等しい ” という条件を設定して検索した場合、 “ 以下 ” という条件を設定した場合と同じ結果となります。
- 回避策：ありません。
  
- issue の更新を基準として自動設定される数値フィールドについて、詳細クエリ画面のクエリ・フィルタに “ と等しくない ” という条件を設定して検索した場合、値が等しい issue も検索結果に表示されます。
- 回避策：ありません。
  
- issue の更新を基準として自動設定される数値フィールドについて、詳細クエリ画面のクエリ・フィルタに “ 以上 ” という条件を設定して検索した場合、 “ より大きい ” という条件を設定した場合と同じ結果となります。
- 回避策：ありません。